

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | ザ・パークハウス天神今泉 | 階数 | 地上19F |
| 建設地 | 福岡県福岡市中央区今泉2丁目2番1号 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域・準防火地域 | 平均居住人員 | 232 人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年9月 予定 | 評価の実施日 | 2017年10月13日 |
| 敷地面積 | 1,372 m ² | 作成者 | 馬場 奈美 |
| 建築面積 | 766 m ² | 確認日 | 2017年12月8日 |
| 延床面積 | 10,561 m ² | 確認者 | 神川 あかね |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 78% (106 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 77% (106 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 77% (106 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|--|
| 総合 敷地の特性を活かし、周辺地域や居住者の「憩いと安らぎ」・「安全」をテーマにした計画としている。 また、住宅性能評価基準等級4を満たし断熱性に優れている。 | | その他 0 |
| Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生を抑えている | Q2 サービス性能 居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。また、高度情報通信設備対応として各住戸に1Gbpsクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されている。 | Q3 室外環境(敷地内) 美しい緑の景観形成と、ゆとりある歩行者空間の演出の為、コミュニティスペースを計画している。 |
| LR1 エネルギー ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。また、外皮を高断熱として省エネ化を図っている。 | LR2 資源・マテリアル 水資源保護を考慮し省エネ節湯器具を採用している。 | LR3 敷地外環境 生ゴミの減容化・減量化、堆肥化対策としてディスポーザーを各住戸に設置している。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される